

芦屋創生

2015 ▶ 2019

We love
ASHIYA



- 「まち・ひと・しごと創生法」が施行、交付（平成26年（2014年）11月）
- 少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかける
 - 東京圏への人口の過度の集中を是正
 - 地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持する

「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の平成27年度中の策定が自治体の努力義務に

総合戦略の計画期間 平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）

本市においても、これらの課題に取り組む必要性を踏まえ、「芦屋市創生総合戦略」（「芦屋市人口ビジョン」「芦屋市総合戦略」）を策定しました。

芦屋市人口ビジョン

目指すべき将来の方向

データから見える課題

- 将来の人口減少に歯止めをかけるためには、社会増、自然増の両面におけるアプローチが必要。

目 標

- 平成72年（2060年）に、86,000人以上

人口の将来推計

- 人口は平成37年（2025年）をピークに減少基調に転じ、平成67年（2055年）には80,000人を下回ると見込まれる。
- 高齢化率は平成57年（2045年）に39.8%に達し、以降は緩やかに減少と見込まれる。
- 年少人口比率は平成47年（2035年）頃まで低下し、以降は横ばいと見込まれる。

人口減少の影響（想定）

地域経済・行財政への影響

- 生産年齢人口の減少に伴う経済圏産業の成長鈍化。
- 個人消費縮小による地域経済の停滞。
- 個人・法人からの税収の減少および社会保障関連費用の増加。

市民生活への影響

- 市場の縮小により、高齢者等を中心とした生活利便性の低下。
- 地域活動の担い手の減少に伴う、地域の自主的な活動の鈍化。
- 空き家の増加に伴い、防犯面・環境面に悪影響。
- 子どもの減少により多様な保育・教育機会が損なわれる。
- 医療費・介護費などの社会保障の負担の増大と、現役世代負担の増加。

芦屋市総合戦略（本市における地方創生の考え方と目標）

地方創生の考え方

社会増への対応

生産年齢人口の転入の流れを今後も維持する。

社会増対策

- ① 本市の都市機能の維持・向上
- ② 良好な住宅地としての魅力を高め、継承する
- ③ 現在の転出入傾向の維持（定住促進 + 転入促進）

自然増への対応

出産・子育てに関する取組を充実させる。

自然増対策

- ① 出生数の減少の抑制
- ② 若い世代の子育ての希望をかなえる

人口の減少に歯止め

総合戦略の基本目標

基本目標 1

安全・安心で
良好な住宅地としての
魅力を高め、継承する

恵まれた自然環境や交通の利便性などの立地条件に加え、本市の特徴であるまちなみを維持・保全し、更に清潔で美しく、安全なまちづくりを進めていくことで、今ある魅力を堅持しながら、住宅都市としての機能や付加価値を高め、本市の良さを引き続き継承します。

数値目標

人口の社会増

H22年～H26年 1,718人 → H27年～H31年 3,200人以上

市民の定住意向

H26年 84.6% → H31年 90.0%

主な取組

- (1) 良質な住まい・住環境の形成
- (2) 地域における医療・福祉の充実
- (3) 安全・安心なまちづくりの推進

基本目標 2

若い世代の子育ての
希望をかなえる

妊娠・出産期から切れ目のない子育て支援のため、子どもや子育て家庭の置かれた状況に応じた支援の充実を図るとともに、学校教育の充実を目指します。

数値目標

若い世代（20～40代）の幸福感

H26年 7.1点 → H31年 8.0点

出生数

H26年 783人 → H31年 783人

待機児童数

H26年 131人 → H31年 0人

主な取組

- (1) 妊娠・出産・子育ての支援
- (2) 教育環境の充実

人口の減少に歯止めをかける「芦屋創生」の取組

人口の目標

短期的目標（～平成32年（2020年））

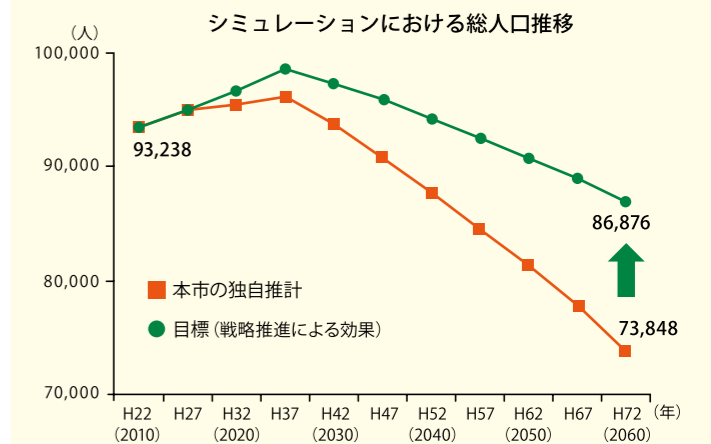
- 現在の出生数を維持するとともに、社会増の状態も維持し、人口規模も現状を上回る水準を目指します。

中期的目標（～平成37年（2025年））

- 引き続き、出生数、社会増の状態を維持し、人口規模もさらに増加する水準を目指します。

長期的目標（～平成72年（2060年））

- 長期的にも出生数・社会増の状態を維持し、人口規模86,000人以上を目指します。



安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高め、継承する

市民の定住意向は高く、居住地として地域イメージや生活環境が良いことが高く支持されています。

(1) 良質な住まい・住環境の形成

景観の保全・育成

特色 (実施中の取組)

- 全国唯一の**全市景観地区指定**による品格あるまちづくり
- いつの時代も市民に親しまれている芦屋のシンボル「芦屋川」
- パチンコ店などが存在しないまち



芦屋川の風景

今後の 主な取組

- **独自の屋外広告物条例**による規制など景観誘導施策を更に進めます。
- 無電柱化の促進
- 空き家などの現状把握や中古住宅のリフォーム促進など良質な住宅ストック形成への対策を進めます。

庭園都市の推進

特色 (実施中の取組)

- 世界中の人々が一度は訪れてみたいと思う「**芦屋庭園都市**」づくり
- 都会の中でも自然と触れ合い、安らげる公園・緑地づくり
- 都市に潤いを与える花と緑の彩り(学校園花いっぱい運動)



オープンガーデン

今後の 主な取組

- 花壇や個人宅の庭を巡る**オープンガーデン**(5月)の促進などまちなかを花と緑で彩り、市民とともに緑を守り育てます。

生活環境の向上

特色 (実施中の取組)

- 市民マナー条例により駅周辺での喫煙禁止と**市内全域歩きタバコ禁止**

今後の 主な取組

- 市民と行政が一体となった清潔で安全・快適なまちづくりへの取組を推進します。

成熟した都市にふさわしい暮らし文化に根ざしたまち

特色 (実施中の取組)

- 全国的に著名な弥生時代の「**国指定史跡**^{えげのやま}下山遺跡」
- 創建時の姿を今も残す「**国指定重要文化財**^{やまむら}旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館)」
- 文学あふれる芦屋のまち(在原業平, 文豪谷崎潤一郎, 詩人富田碎花)
- 戦後日本を代表する前衛美術「**具体(Gutai)**」



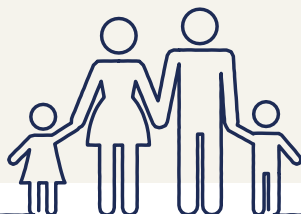
国指定史跡下山遺跡

今後の 主な取組

- 芦屋の文化を見つめなおし、個性豊かで幅広い芦屋文化をまちの魅力として広く発信します。
- 本市の住宅都市としての魅力発信につながる情報提供に努めます。(ご当地ナンバープレートの作成)



旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館)



(2) 地域における医療・福祉の充実

地域連携による充実した医療の提供

特色 (実施中の取組)

- 高い医療技術と清潔でゆとりある空間が確保された**市立芦屋病院**
- 充実した救急医療体制
- 地域の病院や診療所とのネットワークによる充実した医療体制

今後の 主な取組

- 市立芦屋病院と地域の医療機関が連携して、安心できる地域医療を提供します。



平成24年にリニューアルした芦屋病院

救急体制の充実

特色 (実施中の取組)

- **充実した救急救命士の配置**
〈現場到着時間(平均時間)6.7分:全国8.5分〉

今後の 主な取組

- 救急救命活動の充実を図り、市民が適切な診療を受けられる体制を構築します。

地域福祉の推進

特色 (実施中の取組)

- 地域に根ざしたプロジェクト活動による**助け上手・助けられ上手な地域づくり**
- 全国に先駆けて「**権利擁護**」の専門機関を設置
- 複合的な福祉課題に対応するトータルサポート

今後の 主な取組

- 地域の住民やボランティア、自治会、民生委員・児童委員、福祉推進委員等と保健・医療・福祉との連携を充実させます。
- 高齢者の参加が推進され、担い手として活躍できる仕組みづくりを行います。

地域包括ケアの基盤整備と介護予防の推進

特色 (実施中の取組)

- 様々な困りごとに対応できる**保健福祉センター**の総合相談窓口
- 包括的なケアの最前線に立つ高齢者生活支援センターや介護予防センターなどの福祉拠点

今後の 主な取組

- 高齢者生活支援センターの強化など、高齢者を地域とともに支援できる体制づくりを行います。

(3) 安全・安心なまちづくりの推進

震災を経験した芦屋市 ～災害に強いまちづくり・自然災害への備え～

特色 (実施中の取組)

- 市の教育・保育施設は**全て耐震化済**
- 迅速に災害対応するため市内41か所に防災・備蓄倉庫を設置
- 震度5弱以上の揺れで自動解錠する「防災ボックス」を兵庫県下で初めて設置し、迅速な避難所開設を実現
- 津波対策として「**子ども津波避難ビル**」を導入
- 他団体と災害時における相互応援協定の締結

今後の 主な取組

- 想定される様々な大規模災害に対応できる防災・減災体制を充実させます。
- 民間建築物の防災・減災機能の向上を促進します。
- 災害時に地域の人たちが主体となって防災活動が行える基盤作りを進めます。

消防体制の強化

特色 (実施中の取組)

- 消防隊員が短時間で現地に到着
- 高規格救急車、40m級はしご車など消防車両や装備の充実

今後の 主な取組

- 火災や交通事故などの日常的な災害に迅速に対応できる体制を充実させます。

防犯力向上に向けたまちづくりの推進

特色 (実施中の取組)

- 犯罪を起こさせないまちづくり(犯罪認知件数が**10年間で1/4に減少**)
- 子どもを犯罪から守る見守りパトロール

今後の 主な取組

- 見守り活動や情報提供の充実により、犯罪が起きにくい環境を整えます。(防犯カメラの設置や街灯のLED化)

若い世代の子育ての希望をかなえる

犯罪の少なさ、子どもの遊び場の多さや、学校教育の良さが市民から高く評価されています。

(1) 妊娠・出産・子育ての支援

保育サービスの充実

特色 (実施中の取組)

- 充実した保育士の配置による手厚い保育環境(右表)
- 待機児童の解消に向け、認可保育施設を積極的に誘致
- 第2子以降の子どもの保育料を軽減
- 配慮を要する子どもへのきめ細かな対応
- アレルギーに配慮した「食」への取組
- すべての市立幼稚園で実施している預かり保育
- 病気の子どもも安心して預けられる病児・病後児保育(市立芦屋病院)
- 放課後にそのまま校内で学童保育(放課後児童健全育成事業)

保育基準	1・2歳児:保育士	3歳児:保育士	4・5歳児:保育士
芦屋市	5人:1人	15人:1人	20人:1人
国	6人:1人	20人:1人	30人:1人



保育所

今後の 主な取組

- 小規模保育事業所や認定こども園等の誘致など適切で良質な保育サービスを提供します。
- 就学前の子どもの健やかな発達を保障する教育・保育を提供します。

妊娠・出産・育児への切れ目ない支援

特色 (実施中の取組)

- 妊婦健康診査及び妊婦歯科健康診査にかかる費用を助成
- 保健師がすべての親子に個別育児相談
- 予約いらずの育児相談
- 安心して就学を迎えるための5歳児発達相談
- 成人の風しん予防接種助成事業



乳児相談(カンガルークラブ)

今後の 主な取組

- 妊娠・出産期から子育て中の家庭における切れ目のない支援を実施します。(平成27年度より中学校3年生までの医療費無料化)
- 妊婦健康診査の助成額を増額(平成28年度実施予定:7万円→8.6万円)

子育て環境の充実

特色 (実施中の取組)

- 地域での子育てを支援
- 授乳やおむつ替えのスペースとなる「赤ちゃんの駅」が市内に120か所
- アプリ(子育てタウン「わくわく子育て」)で子育て情報をタイムリーにお知らせ

今後の 主な取組

- 3歳児親子ひろばをすべての幼稚園で開催するなど地域で子育てについて交流、相談しやすい環境を整えます。



赤ちゃんの駅

(2) 教育環境の充実

特色ある教育内容

特色 (実施中の取組)

- 子どもたちの**高い学力**を維持・伸長する教育(右表)
- 算数・数学の学習指導員, 理科推進員, 特別支援教育支援員の配置など子どもたちの学びをサポートする体制
- 子どもの感受性を豊かにする読書のまちづくり(ブックワーム芦屋っ子の育成)
- 子どもたちがお互いの個性を大切にしあえる教育(インクルーシブ教育)
- 子どもたちの感性を磨く文化芸術活動(造形教育展で作品を市立美術博物館に展示)

全国学力・学習状況調査結果(H27.4)	国語		算数・数学	
	A	B	A	B
小学校	110	114	109	128
中学校	106	105	112	119

※全国平均を100とした場合(問題Aは主として知識, 問題Bは主として活用を問う問題)



タブレット端末を使った授業風景

今後の 主な取組

- 子どもたちの学習意欲の向上と学力の定着を図る指導を充実します。
- 中学生海外派遣事業の実施

安全・安心で充実した教育環境・子どもの居場所の提供

特色 (実施中の取組)

- 子どもの命や人権の大切さを重視
- 快適で安全・安心な教育環境の整備(全学校園に空調設備)
- ICT環境の整備
- アレルギーをもつ子どもにも一人一人対応した**おいしく安全・安心な学校給食**



整備された路側帯のカラー化

今後の 主な取組

- 放課後の安全・安心な居場所として「あしやキッズスクエア」を全小学校で順次実施
- 心やすらぐ充実した教育環境の整備を計画的に進めます。(全小学校にタブレットPCを導入)

地域社会と連携した取組

特色 (実施中の取組)

- 「働くことの意味」「楽しさ」「厳しさ」を地域から学ぶ体験の場「トライやる・ウィーク」
- 小学校を地域住民に開放し, 自主的な文化活動やスポーツ活動を通じて連帯感と自治意識を育むコミュニティ・スクール



トライやる・ウィーク

今後の 主な取組

- キャリア教育の推進など, 子ども・若者が将来の夢や希望を持てるよう支援します。



●芦屋からの所要時間 ※1



通勤・通学・レジャーなど京阪神の主要都市への移動が便利

- JR芦屋駅は新快速停車駅です。三宮へ8分、大阪へ14分、京都へ47分。
- 新幹線は、新快速で乗り換えなしで「新大阪駅」まで21分。九州方面は「新神戸駅」が便利。
- 高速道路は、阪神高速3号神戸線と阪神高速5号湾岸線が市内を通っています。
- 空路は、神戸空港、伊丹空港、関西国際空港の3空港が利用可能です。



※1) : 3駅(阪急芦屋川駅, JR芦屋駅, 阪神芦屋駅)からの所要時間を同一条件(平日8時出発)で検索し、最短時間に基づき表示(H28.3時点)

芦屋市基礎情報

基礎データ (H28.2時点)

面積..... 18.47km²
 人口..... 95,386人
 世帯数 41,936世帯
 世帯人数 2.27人/世帯
 高齢化率 27.2%
 外国人住民... 1,559人

芦屋市公式ホームページ

<http://www.city.ashiya.lg.jp>



生活情報 (H27.4時点)

医療機関が豊富
 (市立芦屋病院など3施設, 診療所約200施設)
 豊富な保育所(園), 幼稚園など子育てしやすいまち
 (幼稚園12園, 保育所(園)16か所, 認定こども園1園)
 豊かな自然環境とのふれあい
 (六甲山, 芦屋川, 瀬戸内海)

観光・文化・歴史

★ 芦屋さくらまつり (4月)
 ★ あしや山まつり (5月)
 ★ 芦屋サマーカーニバル (7月)
 ★ あしや秋まつり (10月)
 ロックガーデン
 (日本のロックライミングの発祥地)
 美術博物館,
 谷崎潤一郎記念館などの文化施設
 総合公園や人工の潮芦屋ビーチ
 「芦屋国際文化住宅都市建設法」制定
 (昭和26年)